

2021年度 東海地区中学生春季テニス大会(団体戦)の開催について

新型コロナウイルスの感染状況が悪化しており、会場所在地である名古屋市には蔓延防止特別措置が適応されています。そのような情勢の中、本大会の開催の可否について4月24日に東海中学校テニス連盟理事会において検討した結果、以下の要領で開催することといたしました。

1. 各県理事長より、出場予定校に対して再度出場の可否を確認する。地域、学校によっては出場を見合わせるよう指示が出る場合も考えられる。その場合は至急、各県理事長にその旨を伝える。参加予定校から辞退が出た場合、各県理事会の責任において出場校を補充することができる。補充ができない場合は、BYEとしてドロウを組む。
バスを利用して来場予定の学校は、キャンセル料発生の有無や時期等について確認し、この点についても各県理事長に報告をする。
各県理事長は4月28日(水)の17:00を期限として東海中テ連理事長に報告をする。4月29日(木)19:00より東海中学校テニス連盟理事会を開催し再度開催の可否について確認する。
開催可否を含めて諸事の最終判断は大会当日の朝とする。
2. 今回発表のドロウは暫定的なものとする。シード以外は当日朝、抽選でドロウを決定する。1回戦が同県同士の対戦にならないように配慮する。最終的なドロウは出場校数を勘案して決定する。フィードインコンソレーションは今回発表のドロウの表記で実施する。場合によってはリーグ戦形式に変更することもある。
3. 静岡県は昨秋の新人戦1位校(男女とも浜松日体)と女子2位校の浜松西が現時点で出場辞退。出場校枠3校のところ男女とも2校の申込。
 - ・男子 静岡1位の位置に静岡2位の浜松西を置く。
 - ・女子 静岡1位の位置に静岡3位の沼津市立を置く。
 - ・男女とも11ドロウとし、ドロウ番号5をBYEとする。
4. 今後、シード校が辞退した場合、当該県の上位校をシード位置に置く。シード校以外が辞退した場合はBYEの扱いとして当日朝、ドロウのくじ引きを行う。